

## 自覚をもって学び続けよう

—開倫塾で身につけてもらいたいこととは—

開倫塾

塾長 林明夫

Q：新学年がスタートします。開倫塾の総責任者として、開倫塾の塾生、保護者、地域社会の皆様にお伝えしたいことは何ですか。

A：（林明夫。以下省略）ものごとに取り組むとき、勉強をするときには「自覚をもって行うこと」が最も重要であるということです。

ただ何となくやるのと自覚をもって取り組むのとでは雲泥（うんでい）の差、大きな差が結果として出るからです。

Q：自覚とは何ですか。

A：広辞苑（こうじえん）という辞書によると、自覚とは「自分のあり方をわきまえること。自己自身の置かれている一定の状況を媒介として、そこにおける自己の位置・能力・価値・義務・使命などを知ること」という意味です。

（1）「自分のあり方をわきまえる」

『わきまえる』とは、自分の置かれた立場から言ってすべき事と、すべきでない事とのけじめを心得（こころえ）る」という意味です。（新明解国語事典）

例えば、「受験生としての自覚をもつ」とは、自分は受験生であるという立場にいることをよく意識して、受験生としてすべきことはして、すべきでないことはしないということです。

（2）「自己自身の置かれている一定の状況を媒介として、そこにおける自己の位置・能力・価値・義務・使命などを知ること」

①自分は今、学校で勉強する小学生、中学生、高校生、大学生、大学院生という立場・位置にいることを知ること。

②そのような状況の中で、自分の能力つまりよくできるところと、よくできないところを知ること。

③今、自分が大切にするもの・自分にとってよいもの・めざすべきものとは何か、つまり価値を認めるものとは何かを知ること。

④小学生、中学生、高校生、大学生、大学院生としてやらなければならないこと、義務を知ること。

⑤自分に課せられた任務、使命を知ること

Q：まとめていうと、自覚をして学ぶとは何ですか。

A：何のために生きるのか、何のために働くのか、何のために学ぶのか、何のために今学校に行っているのか、何のために進学するのか、進学して何を学ぶのかなどを、自分の力でしっかり考えながら勉強するということです。

自分が今やっていることの意味を自分自身の力でよく考え、その意味をよく知ることが「自覚する」ということです。

学力が飛躍的に伸びる人は、自覚をもって学んでいる人です。

Q：自覚をもって勉強するにはどうしたらよいのですか。

A：人は何のために学ぶのか、いろいろな人の考えを知ることが大事です。

(1) 学年末や新学年の始まりには、卒業式や終業式、始業式をはじめ学校行事やクラスの行事がたくさんあります。様々な式典、学校やクラスの行事でのいろいろな人のあいさつに耳を傾けてよくお聴きになることをまずはお勧めします。

人の前であいさつをする人は、どのようなお話をすれば皆様の教育に役に立つかを十分に考え、言い方に工夫をしてからお話をする方がほとんどです。私も話をするときには必ずメモをつくり、そのメモを暗記してからお話をします。

よく聴いていると、とてもためになる話が多いと気づかれると思います。できれば大切な言葉だけでも手帳にメモをして、何回も何回も読み返し自分のものにするもお勧めします。

(2) 学校新聞や学級新聞をはじめ様々な通信文にも、自覚をもって勉強する上で役に立つ内容がたくさん含まれています。

文章を書く人は、その文章を読む人のお役に少しでも立てばと思って書く人がほとんどだからです。

(3) 開倫塾の各校舎の校長先生や先生方の毎回の授業時間中のお話にも、「自覚をもって学ぶ」上でお役に立つ内容がたくさんあると思います。是非、これはためになると思うお話はノートにメモをして、何回も読み返して下さいね。

(4) 「自覚をもって学ぶ」ために読書をお勧めします。

①特に、よい世の中をつくろうとした人、人々の生活をよくしようとした人の「伝記」はとても役に立ちます。

②人生とは何か、何のために生きるのかを考えるのには、「小説」や「エッセイ」、「評論」を読むことがとても参考になります。

③読書による思慮深さを身につけましょう。

(5) 世の中が今どうなっているのか、これからの世の中がどうなるかを知るのに一番役に立つのが「新聞」です。

①開倫塾では、「小学生は 20 分以上、中学生は 40 分以上、高校生は 60 分以上新聞を読んで自分の力で考える力を身につけよう」と、塾生の皆様に新聞を毎日読むことをお勧めしています。

②現在の社会の課題やこれからの社会の課題が新聞を読んでよくわかれば、そのためにはどうしなければならぬかがわかります。課題の多い社会の中で自分自身や社会を守るために学ぶべきことが山ほどあることが、新聞を毎日じっくり読み込むことでわかってきます。

③新聞を家庭で購読していない場合は、学校の図書室や公立図書館に毎日通い、新聞を毎日読んで下さい。お小遣いをため、コンビニで新聞を買うことも心掛けて下さい。

④新聞を読んで自分の力で考える力、批判的思考能力を身につけよう

**Q：開倫塾で身につけてもらいたいのは「自覚をもって勉強する」ことだけですか。**

A：「学び方を学ぶ」能力も是非身につけてもらいたいと強く希望します。つまり、一度「うんなるほど」と十分に「理解」したことをどのように身につけたらよいのか。「音読練習」や「書き取り練習」、「計算・問題練習」の「定着のための三大練習」でしっかり身につけること、このように「学び方を学ぶ」能力も大切です。

教科の勉強や受験勉強、英検合格のための勉強はもちろんのこと、「自覚をもって学ぶこと」と「学び方を学ぶ」能力を開倫塾で身につけることを私は強く希望いたします。

皆様はどのようにお考えになりますか。

御進級・御進学おめでとうございます。

－ 2010年2月18日記－